



鶴岡市長 治

皆川

が進められてきました。

ともに発展する住民主体の街づくり

揮しながら、

中心市街地と旧町村が

温海の各地域がそれぞれの個性を発

鶴岡・藤島・羽黒・櫛引・朝日・

9年度の鼠ヶ関への新道の駅の整備 に向けた事業も本格化しています。 新設した加茂水族館のリニューアル、 月には、朝日庁舎が消防署朝日分署 護専門学校が移転新築され、また6 ます。令和8年度のクラゲ研究所を やデジタル活用を図った新しい市民 と合築され、二酸化炭素の排出抑制 に学年定員を30人に増やした荘内看 サービスの拠点として業務を開始し 4月には、シビックコアのエリア

ほんとうの豊かさを追求する 創造と伝統のまち から20周年の節目を迎えます。この 本年10月、本市は、平成の大合併 みんなが暮らしやすい 鶴岡 の実現に向けて

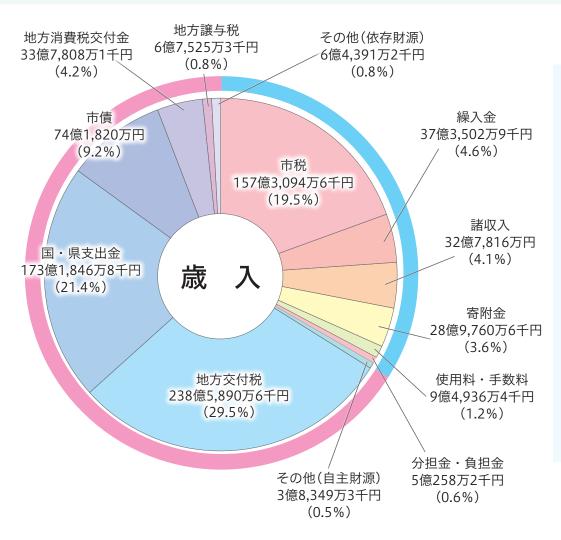
の強化を図ります。 場所の確保と地元定着・回帰の流れ 約200万円の奨学金返済支援制度 クイノベーション」を推進し、最大 て国に採択された「ガストロノミッ ともに、中核市未満の自治体で初め として、令和9年度の分譲開始に向 させていく願いが込められています 業、自然と歴史、文化の魅力と価値 えた新鶴岡市の6つの地域が誇る産 けた新産業団地の造成に着手すると を引き継ぎ、将来に渡って高め発展 つるおかエール」によって、 地方創生をリードしてきた自治体 令和7年度予算には、ハタチを迎 働く

どもまんなかの動きを一層強固にす 着実に取り組んでまいります。 校給食センター整備の実現に向けて 新図書館整備基本計画の策定や、 る観点からも、遊び場の環境整備、 元の風土・食材を活かした新たな学 未来を担うのは子供たちです。 地

次

- 般会計予算額(グラフ)
- 鶴岡市の主要事業(5つの加速化
- 財政状況をグラフで紹介します

807.7億円 (対前年度比 +9.6%)



歳入に占める割合

自主財源…34.0% 市税など、自主的な 収入

- ○市税
- ○諸収入
- ○繰入金
- ○寄附金
- ○使用料・手数料
- ○分担金・負担金 等

依存財源…66.0%

地方交付税など、国 や県から定められた額 を交付されたり割り当 てられたりする収入

- ○地方交付税
- ○国・県支出金
- ○市債
- ○地方消費税交付金
- ○地方譲与税 等

歳入額を市民1人当たりに換算すると 69万8,286円

市税などの収入



/ 市税 136,000円 使用料・手数料 8,207円 分担金・負担金 4,345円 諸収入ほか 28,341円

17万6,893円

国からの収入



34万4,801円

県からの収入



5万1,802円

市債(借入金)



6万4,133円

その他の収入

- ・前年度繰越金
- ・基金繰入金
- ・寄附金

など

6万657円

※令和7年3月31日現在の人口:115,669人で算出

- ○市税…市民が市に納める税金(市民税、固定資産税、 軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税など)
- ○**地方交付税**…所得税など国が徴収した税金の中から 市の財政状況に応じて交付されるお金
- ○国・県支出金…特定の事務・事業についての財源と して、国や県から交付されるお金
- ○市債…建設事業や財政対策などを行うため、金融機 関などから借り入れるお金
- ○**繰入金**…特定の事業のために積み立てたお金(基金) などから繰り入れるお金
- ○**分担金・負担金**…特定の利益を受けた人から負担してもらうお金
- ○**地方消費税交付金**…消費税の一部が人口と従業者数 に応じて交付されるお金
- ○**地方譲与税**…国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

般会計予算額

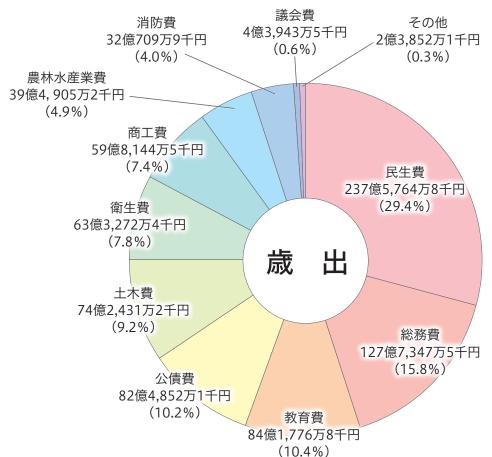
歳出に占める割合

消費的経費…65.8% 物件費や補助費など、 後年に形を残さずに消 費される性質のお金

投資的経費…13.0% 建設事業などのよう に、社会資本として将 来に残るものに使われ る性質のお金

その他…21.2%

歳出全体の内 義務的経費…44.0% 人件費や扶助費、公 債費のように、支出が 義務付けられ、任意に 節減できないお金



前年度と比べた歳出の状況

- ○民生費…13億5,819万5千円の増
- ○総務費…32億851万1千円の増
- ○教育費…2億6,321万6千円の減
- ○公債費…1億6,653万5千円の減
- ○土木費…20億5,944万3千円の増
- ○衛生費…10億7,969万円の減
- ○商工費…12億4,327万9千円の増
- ○農林水産業費…4,667万2千円の増
- ○消防費…7億3,605万円の増
- ○議会費…8,408万円の増
- ○その他(災害復旧費、労働費等)
 - …1億2,678万9千円の減

歳出額を市民1人当たりに換算すると 69万8,286円

民生費

福祉や保育など のためのお金



20万5,393円

商工費

商工業や観光の 振興のためのお 金



5万1,712円

総務費

課税・納税、職 員管理、企画な どのためのお金



11万431円

農林水産業費

農林水産業の振 興のためのお金



3万4.141円

教育費

教育などのため のお金



7万2,775円

消防費

消防や救急、救 助活動などのた めのお金



2万7,727円

公債費

借金返済に充て るお金



7万1,311円

議会費

市議会の運営の ためのお金



3,799円

土木費

道路や橋の建設 などのためのお



6万4,186円

衛生費

健康増進やごみ 処理などのため のお金



5万4,749円

その他(災害復旧費・労働費等)

災害復旧費…自然災害の復旧工事の ためのお金

労働費…雇用対策などのためのお金







2,062円

5

つの加速化アクション

①若者・子育て世代に選ばれるまちづくり

②SDGs未来都市の実現

3産業振興と人材育成

4 交流人口の創出・拡大

⑤総合的なデジタル化戦略の推進

生殖補助医療費助成事業

508万円

▶先進医療を含めた体外受精等の生殖補助医療を 受ける夫婦に対し、保険適用後の自己負担額の 一部を助成します

こども未来推進事業

336万円

▶「自由な発想で遊ぶ」をテーマとした遊び場であるプレーパークの体験事業や、子供の意見を聴く「こども会議」を開催します

※キッズドームソライ利用料軽減の関連予算は削除 されました。

インフルエンザ予防接種事業

1,893 万円

▶高校生までのインフルエンザ予防接種費用を新たに助成します

ひきこもり支援事業 1,140 万円

▶ひきこもりに特化した相談窓口の設置や、本人・ 家族の居場所作りを推進します

コンポスト化施設整備事業

12億**1,522**万円

▶老朽化した汚泥資源化施設を更新整備します

交通輸送対策事業 3億549万円

▶路線バスが廃止される藤島・朝日地域で生活交通の確保を図るため、市営バス・デマンド交通の切替え等を実施します

令和7年度

鶴岡市の主要事業

市では、総合計画を更に加速して推進するため、 後期計画の中で特に重視すべき視点を「5つの加 速化アクション」と位置付けています。

4・5ページでは、新年度の主要事業の内、5つの加速化アクションに関連する事業を中心に、6・7ページでは、その他の重要事業を紹介します。

①若者・子育て世代に選ばれるまちづくり

子育て支援医療給付事業

5億4,663万円

▶18歳までの医療費の無償化を継続します

奨学金返済支援事業

3,075 万円

▶県の奨学金返還事業に上乗せする市独自の「つるおかエール奨学金返済支援事業」で、若者の地元回帰や地元就職を促進します

若者地元定着・回帰促進事業

869万円

▶大学生と地元企業の若手社員との交流イベント や地元企業への長期インターンシップを実施す るほか、就職情報サイト「つるおか仕事ナビ」 の充実を図ります

②SDGs未来都市の実現

庄内自然博物園構想推進事業

3,635 万円

▶地域一体型の森づくりを進めるために締結した 「庄内セブンの森」協定に基づき、都沢湿地の 保全と活用を進めるとともに、「ほとりあ」を 拠点とした自然学習プログラム等を推進します

地域防災対策事業

260 万円

- ▶自主防災組織での地区防災計画の作成等を支援 し、防災・災害対応の実効性を高めます
- ▶大雨時の浸水被害に備えた対策として、排水ポンプを配備します

産業団地開発推進事業・企業立地促進事業

9億5,302万円

- ▶令和9年度の分譲開始に向けて、新たな産業団 地の造成工事を行います
- ▶企業の新規立地や設備投資に対する助成制度の 創設や、事業場設置助成金の上限額の引上げを 行い、本市への投資拡大を促進します

食文化創造都市推進事業

290万円

▶次世代料理人コンペティションを開催し、料理 人の自己研さんの機会を設けるとともに、本市 の食・食文化の情報発信を強化します

商店街振興対策事業

1.400万円

- ▶中心市街地の遊休物件のリノベーションに取り 組む事業者を支援します
- ▶空き家・空き店舗を活用した創業や、事業継承 される店舗のリフォーム経費を支援します

図書館本館整備事業

2.529 万円

▶図書館ミーティング、策定委員会、意見投稿ア プリなどにより、対話を継続しながら新図書館 整備に向けた基本計画を策定します

ふるさと寄附金事業

13 億 9.477 万円

▶市制施行20周年記念返礼品の造成など、ふる さと寄附金の取り組みを推進します

⑤総合的なデジタル化戦略の推進

消防団支援アプリ導入事業

184万円

▶災害時の消防団と消防本部との迅速な情報共有 や、消防団員の事務負担軽減のため、消防団支 援アプリを導入します

③産業振興と人材育成

ガストロノミックイノベーション推進事業 4億4.123万円

▶山大農学部と慶應先端研が連携し、食産業や食 文化に変革をもたらす研究開発と専門人材の育 成を行うとともに、開発した新食材や技術を活 用して産業を創出します

園芸産地つるおかプロジェクト事業 450 万円

▶園芸施設の改修や、果樹被害を軽減する資材等 の導入を支援します

④交流人口の創出・拡大

加茂水族館改築事業

13 億 3,943 万円

▶令和8年度のリニューアルオープンに向け、改 築工事を継続するとともに、財源確保の取り組 みとして、住民参加型市場公募債を発行します

鶴岡DMO支援事業

- ▶令和8年の羽黒山午歳御縁年を見据えた観光プ ロモーションを強化します
- ▶インバウンド対策では、出羽三山などをフィー ルドとしたアドベンチャーツーリズムを推進し

中心市街地将来ビジョン推進事業

3,981 万円

930 万円

- ▶銀座通りでのパークレット化社会実験や、交通 環境の変化に応じた調査・検証を行います
- ▶中心市街地の空き地・空き家を解消し、居住促 進を図るため、小規模な区画再編を支援します

窓口業務デジタル導入推進事業

336万円

▶朝日庁舎をデジタル化の先行モデルとして、市 民窓口にキオスク端末を設置します

暮らしと防災

地域コミュニティ

づくりの推進

3 億 4.958 万円

- ●旧朝暘二小跡地をコミュニティ・子育て 拠点として整備する基本計画の策定及び 基本設計を実施
- ●湯野浜コミュニティセンターの大規模改 修及び朝日中央コミュニティセンターの 改修に向けた実施設計等を実施

資源循環型社会の形成

2億6.354万円

- ●リサイクルプラザの老朽化 した主要設備の改修
- ●ごみ減量のため、分別を啓 発し資源回収を支援

消防・救急体制の充実

8億5,741万円

- ●老朽化した通信指令設備の 更新
- ●消防ポンプ庫・消防小型動 カポンプの更新・整備

防災力の強化

193 万円

- ●災害に強い地域づくりを考える防災講演会等を開催
- スマートフォンアプリを活用した、音声による防災 情報の配信システムの実証

●従来の移住相談に加え、新たに無料で職業を紹介す る「つるおか暮らし・しごと支援センター」を開設

移住・定住の促進

生涯を通じて安心して健やかに暮らすことができる社会の形成

福祉と医療

子供が健やかに育つ環境の充実

58 億 9,714 万円

- ●多様な保育ニーズに対応するため、 一時預かり、延長保育、発達支援 保育などを行う保育所等を支援
- ●ヤングケアラー支援の窓口として コーディネーターを配置
- ●第三学区放課後児童クラブの整備 に向けた実施設計
- ●京田地区放課後児童クラブの整備 に向けた検討

こころと体の健康づくりの推進

3 億 314 万円

- 乳幼児・学童等へ定期予防接種を実施
- ●成人への風しん予防接種、高齢者への 帯状疱疹予防接種等を助成

医療提供体制の充実

3 億 5,200 万円

●修学資金貸与制度等の医 師確保対策を実施し、荘 内病院の診療体制を充実

障害者が自立して 暮らせる地域共生 社会の実現

1.237 万円

5,708万円

- ●ストーマ用装具への補助等、重度の障害者 や難病患者の日常生活用具の費用を支援
- ●重度心身障害者と医療的ケア児に対しての 交通費を支援

いのち輝く人を育て、歴史や文化でつながる交流の拡大

教育施設の整備・検討

6.188 万円

●藤島地域への義務教育学校整備 に向けた基礎調査と、開校に向 けた教育課程等の検討を実施

文化芸術の振興

271 万円

●丸谷才一氏生誕100年を記念 した講演会や展示を通じ、本 市の魅力を発信

学びと交流

市民スポーツの振興

4.862 万円

人工芝グラウンド整備に向けた 旧鶴岡病院の解体と基本設計・ 実施設計

学校給食の充実 18 万円

●学校給食センター改築に向け、検討体制を整備し基本計画を策定 ※計画策定の先送りにより、用地取得や改築工事等の関連予算(債務負担行 為)を削除する訂正を行いました。

教育環境の充実 1.578 万円

●中学校の部活動の受皿を充実さ せ、「休日の部活動の段階的な 地域移行」を推進

豊かな食文化を支える農林水産業の生産拡大と所得向上の実現

水産物の安定供給と 漁村の活性化

2,084 万円

- ●水産業の成長産業化に向け、漁業者 の設備導入をオーダーメイド型で支
- 一件内浜水産物のブランド創出と中食 の開発・販売のための事業費を支援

農業人材の育成・確保

1億7,784万円

- ●農業経営者育成学校「SE ADS」で農業人材を育成
- 就農形態等に応じた段階 別の支援を実施
- ●三川町・庁内町と連携し 広域での研修を受入れ

農・林・水産業

農業生産の拡大 200万円

●地域農業の維持を目的とし、共同で 使用する農機具等の購入を支援

豊かな森林づくり

392 万円

●下刈り等の森林作業体験や森林学習 を実施

鶴岡ならではの観光の振興

2,330 万円

- ●3つの日本遺産のストーリーを活用 した観光振興を支援
- ●湯殿山スキー場への地域おこし協力 隊員の配置と、「R天国」の情報発信 ・誘客の促進

まちなかのにぎわい創出

400万円

●中心市街地等のにぎわい創 出のため、イベント広場で の定期的なイベント等の実 施を支援

はたらく場の確保・振興

2,695 万円

- ●市内企業の人手不足等に関する実 態調査や、就労支援サポーターの 配置を支援
- ●市内の中小企業等が行う生産性向 上・新製品開発・新分野展開等の 取り組みを支援

社会の基盤

市域内外の交流を促進し安全で快適に暮らせるまちの整備促進

道路や周辺施設の整備

16 億 1.234 万円

- ●道の駅あつみの移転整備に関する用 地取得と整備工事を実施
- ●山王町本町線(川端通り)の一方通 行解除に向けた舗装工事等を実施

快適な都市環境の形成

1億150万円

- ■温海公園(ばら園)の改修 工事を実施
- ●赤川かわまちづくり計画に 基づき、河川敷の公園施設 整備や活用を推進

安全・安心な生活基盤の整備

2億5.462万円

- ●庄内地域の広域水道企業団による 事業開始に向けた取り組みを推進
- ●空き家利活用を更に推進するため、 つるおかランド・バンクによる空 き家バンク事業やコーディネート を支援

地域の振興

●鶴岡地域まちづくり未来事業

力あふれるまちづくりを支援

広域コミュニティ組織が取り組む活

地域の特性や資源を生かし市民が安心して暮らせる地域づくりの推進

〈鶴岡地域〉

2,015 万円

2,249 万円



農の魅力拡大事業

〈藤島地域〉

- 庄内農業高等学校地域連携事業
- ●藤島歴史公園「Hisu花」魅力発信事業
- ●藤島文厚エリア等検討事業

〈羽黒地域〉 1,408 万円

●手向地区持続可能な歴史まちづくり推進事業



- ●羽黒山午歳御縁年誘客対策事業
- ■羽黒山スギ並木保全計画策定事業
- 太陽に輝くひまわり畑創出支援事業
- ふらっといっぽ事業

交流居場所で笹巻づくり体験

〈櫛引地域〉

1,239万円

●ゆ~Town活性化事業



- ●くしびきフルーツ振興プロジェクト事業
- ●市南部エリア観光周遊促進事業
- ●黒川能保存伝承支援事業
- ●歴史文化施設収益性向上支援事業

〈朝日地域〉

1,901 万円

〈温海地域〉

●家族まるごと移住体験事業

1,862 万円



大泉地域ビジョンスタートアップ支援事業

- 共創プロジェクト支援事業
- ●かたくり温泉運営支援事業
- 朝日地域拠点形成事業
- 大鳥池避難小屋衛星通信実証実験事業

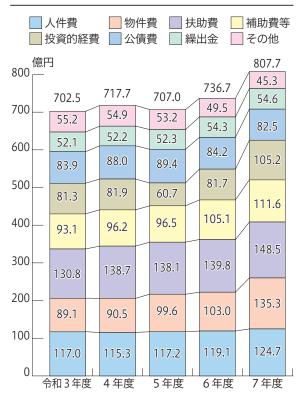


- ●道の駅あつみ商品開発プラットフォーム事業
- 水産物販売実証実験事業
- 教育環境充実事業
- ●支え合い訪問活動事業



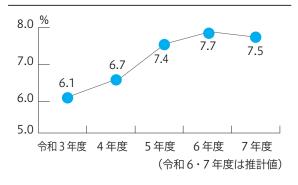
市の財政状況をグラフで紹介します

一般会計歳出の構成別推移



- ○人件費…職員の給料、議員や委員の報酬など
- ○物件費…消耗品や備品の購入費用、光熱水費、施設 の管理委託料など
- ○扶助費…生活保護費や保育園の委託料、乳児や重度 身体障害者への医療給付費など福祉のためのお金
- ○補助費等…各種団体や病院・上下水道事業に対する 負担金や補助金など
- ○投資的経費…道路、橋、学校など公共施設の建設経費
- ○公債費…借金の返済に充てるお金
- ○繰出金…介護保険などの給付費に対して、一般会計 で負担するお金

実質公債費比率の状況



○実質公債費比率…公債費や公営企業への繰出金などを 含めた実質的な公債費相当額が、標準財政規模に占 める割合を、3か年平均で表した指標。この比率が 18%以上になると市債の発行に県の許可が必要と なり、25%以上になると、市債の発行が制限される

一般会計歳入の構成別推移



市債残高と公債費の推移

